

news 88

第5号
2001年4月

ピアノを教えるワンポイント
テツコさんもピアノが弾ける（1）

作曲家・ピアニスト 伊能美智子

あの黒柳徹子さんがTVで、統計上千人に1人はいくら習ってもピアノが弾けない人がいるそうで、ご自身がその一人なのだと言ってらしたことがあります。

もちろん冗談に決まっていますが声楽家でもいられる徹子さんは持つて生まれた楽器で自由に音楽できるという意味まれた環境にある方。それに引き替えキーボードを探らなければ音楽できないピアノとはなんと厄介な楽器でしょう。その厄介なピアノを人はなぜ弾きたがるのか。ピアノを教えるとき、その頂点から出発したいですね。そこでもしテツコさんは幼児だったら…ピアノを教えるというよりは、音楽への憧れを持ってもらうようにしましょう。耳に快い音を人は美しいと感じ、美しいと感じ、だからこそ憧れます。幼児の場合はすべてが新しい体験ですからなおのこと。レッスンが楽しくなるような快い音楽を体験させ、ピアノという楽器が作り出す美しい音へ憧れる気持ちをまず刷り込んであげましょう。楽しい快いものへの憧れだけが、これから延々と続くであろうキーボードを探る辛さを忘れさせてくれるものですから…。

ピアノ学習の基礎…春秋社版（定価1,800円+税）
もっと楽しいピアノレッスン…

春秋社版（定価1,400円+税）



伊能美智子プロフィール

東京女子大学卒。国際基督教大学に暫時学んだ後大阪音楽大学ピアノ科卒。ピアノを故井口基成氏ほかに師事。桐朋学園大学ピアノ科講師（非）を勤めた後渡米、帰国後発表会の場を提供する会「MIK」を主宰。音楽を志す人たちに発表の場を提供する一方、作曲、演奏、作詞、著作、講演活動中。MIKは本年25周年を迎え、リサイタル、コンサートの出演者は延べ2,000人を超える。

作曲作品には小倉百人一首をテキストに歌曲合唱曲117曲、一人オペラ「マクベス」、ピアノトリオ「郷愁」ほか、著作作品に「ピアノ学習の基礎」「もっと楽しいピアノ・レッスン」「ショパンが弾けた!?」「レスナーのためのピアノの教えかた」「ピアノ・レッスンQ&A」「ミドル・エージのためのピアノ・レッスン」（以上春秋社刊）、教材楽器「校訂楽譜『新編こどものソナチネ』全4巻」「編集著『こどものボリフオニー』全3巻」（以上学習研究社刊）など、ほかに音楽之友社から歌曲集、合唱曲集を出版。作品CD4枚リリース。

今月のNEWSな 楽譜&グッズ

●ヤマハミュージックメディアより

ユニヴァーサル社日本語ライセンス版ピアノ・シリーズ

★バルトーク・ピアノ作品集第一巻/第二巻

第一巻 菊倍 112頁 2,400円 グレード中級
4月下旬発売予定

第二巻 菊倍 78頁 2,100円 グレード中～上級
4月下旬 発売予定

【解説】作曲家別ライセンス版シリーズのバルトーク版が登場。

ユニヴァーサル社からビースで出版されていた作品をレベル別に2巻に収録した演奏会用作品集です。

●（株）共同音楽出版社より

かんたんだいすき

★ピッピッピアノ曲集 I

石川美登子、井澤満代他

菊倍 横版 32頁 定価 800円

【解説】ピッピッピアノ。で学んだ事、2でこれから学ぶ事を楽しく身に付けるための曲集です。伴奏譜付きで先生と生徒が一緒に楽しめます。全13曲

●音楽の友社より

★ドビュッシー12の練習曲（オリジナル版）

Gムニ工監修/山崎孝・青柳謙二校訂

菊倍 96頁 予価 3,000円 近日発売

【解説】ショパンに捧げられたエチュード集。初版のデュラン版、ヘンレ版、コスタラ版を詳細に調べ、比較検討したオリジナル版です。

★こどもピアノワールド I 発表会用名曲集

TAKE I KEYS 編

菊倍 48頁 予価 1,200円 4月下旬発売予定

【解説】こどものうた、わらべうた、世界の民謡、ポップスのスタンダード曲等をバイエルからブルグ程度に易しくアレンジした発表会曲集。全曲先生との連弾。アイアイ、おはなが笑った、大きなたいこ、いとまきのうた等。

★音楽大学・短大入試問題集1999,2000年度

友社編 B5 1604頁 予価 4,500円

【解説】120校の過去二年間の入試問題集。英語の回答例・解説を新規に追加。

★音楽高校入試問題集 1998～2000年度

友社編 B5 676頁 予価 2,700円

【解説】60校の過去三年間の入試問題集。英語の回答例・解説を新規に追加。



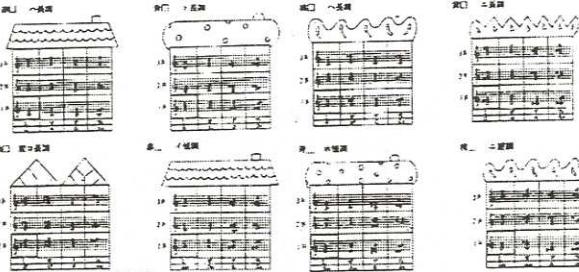
ピアノ指導の 現場から

心を開く魔法のカード
「どれみ烟」活用法
「前号に引き続き“カードで和音”パート2」

各調和音家作り

和音カードの右下に色彩マークがあります。赤マークは□ばかりを集めますと12枚でできます。この赤マーク□でハ長調IV、V、VIの和音の転回形までもが揃う仕組みになっています。

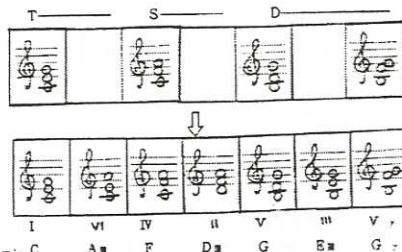
では、この色彩マークをもとに各調の音家作りをしてみましょう。



和音家作りを通してハ長調ではI度のドミソモト長調ではIV度、ヘ長調ではV度になることがカード並べを通して体得できます。

機能並べ

主要三和音に副三和音（主要三和音のどれかに準じた機能をもつて代理和音）をプラスします。



コードで弾いてみましょう

「コンコンクンシャンのうた」

| | | | | | | |
|-----------|-----------|-----------|---------|------------|-----------|------------|
| C りすさん | C が | C マスクし | C た | G, ちいさい | C ちいさい | G, ちいさい |
| C ちいさい | A# マスク | C し | G, た | D# コン | G, コン | G, コン |

次号では、楽しく身につくカードの使い方、グループレッスンでの活用など応用編としてお伝えしたいと思います。

加藤久美子 プロフィール

常葉学園短期大学音楽学部ピアノ科卒業。同短大専攻科修了。その後、小・中学校の音楽講師を経て、横濱にて音楽教室「どれみ煙研究所」を開く。教員時代の経験をヒントに、音楽の基礎が楽しく学べる、音楽カード「どれみ煙」シリーズ（ドレミ楽譜出版社）を考案し、実用新案を取得。現在、全国でカード活用セミナーを開催し好評を得ているまた、「ドからの音楽体験」として、導入期のための新しい教材を制作中。主な著作：「どれみ煙」全5種類「カードで楽典」「カードで音符」「カードで和音」「カードで音符 音記号」「カードで和音 音記号」「カードで和音 音記号」（ドレミ楽譜出版社刊）



~連載~ ピアノレッスンの今後

桃のマナーシリーズ 第6話「おやっ？ 親がヘン？」



親がいたい放題や井戸端の感想で泣かせたりといふあたりのいじめもあります。「おやっ？ 親がヘン！」いやあ、様々なネガティブについて取り上げます。

①よく不知不づきで「お母さん、新しいのを買ってきたよ」とおしゃべっている。お母さんがいい匂いがして、嬉しいと喜ぶんだ。

②すこしうまい月謝袋の中にばらはうして、お母さんが喜んでいた。月謝袋は「おやっ？ お母さんは月謝袋が壊れたので、新しい袋に変えました。今度はジャージーの重い革で、丈夫でいい」とやんわりと説明している。

③誰だけでも比較しないでほんまに。それなりに勉強して、一年以上の知識をもっていると想ってください。④一年くらいかかる。自分でも思っていいよ。⑤今、レッスン中で、他に入り込まなければいけない。⑥自分の場合、自分でよくいいて、手順に沿ってください。⑦月謝は、お世話になったおじさんにとって出されたからです。スーパーの買物も、以前、レッスン中に「何言ってんだ？」これが金はもらうといっているんだぞ！」といふ言葉の意味を説明しました。お金を払っているほうが強くなると、お母さんが、親にあり、それが生徒にまで浸透していくことに衝撃を受けました。本が、月謝が、同じように扱われるつあります。これでを聞く私たちは、時代遅れなのでしょうか？ でも、あえて言います。以前は、沂川は、沂川の話を捕まえていました。

⑧沂川は、「沂川がいい子でした」といいます。また、沂川もよろしくお願いします。



ここだけの NEWSなCD

モーツアルト：ピアノ協奏曲第27番 変ロ長調

フリードリヒ・グルダ(pf)

(Deutsche Grammophon 419 479-2)

マルコム・ビルソン(fp)

(Archiv 463 111-2)

諫山 隆美

(いさやまたかよし 音楽評論家)



今年の冬は例年なく雪が多かったためか、

春の訪がどんなに待ち遠しいことでしたでしょうか。音楽にも春を題材にした名曲がいくつかあり、ベートーヴェンのヴァイオリンソナタ第5番、シューマンの交響曲第1番をはじめとして、ヴィヴァルディの四季の「春」、ストラヴィン斯基の「春の祭典」、ピアノ曲ではメンデルスゾーンの「春の歌」やグリーグの「春に寄す」、歌曲ではシューベルトやショパン、マーラーも春にちなんだ作品を残しています。

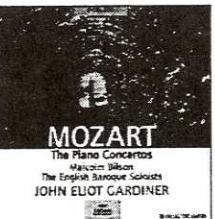
今回ご紹介しますのは、春に憧れて書かれたと考えられているモーツアルトの傑作、ピアノ協奏曲第27番 変ロ長調 KV.595です。この曲はモーツアルト最後のピアノ協奏曲で、1791年1月5日に作曲。初演は同年3月4日、モーツアルトの最後のステージとなったコンサートで作曲者自身がソリストをつとめています。

この曲はモーツアルトのピアノ協奏曲の中でも第23番や20番に次いで演奏される機会の多い名曲ですが、シンプルな曲だけにピアノのタッチや音色、フレーズといった演奏技能はもちろん、音楽性や知性までもが引き出しがなってしまう傾向が特に強く感じられる怖さを持っています。

そうした怖さとは裏腹に、明るく伸び伸びと演奏するのが、フリードリヒ・グルダの名演です。(Deutsche Grammophon 419 479-2) 指揮はクラウディオ・アバド、オケはウィーン・フィルハーモニー管弦楽団で、録音は1975年。今も尚、色褪せない名盤として広く愛聴されている1枚です。

ところで、このピアノ協奏曲と春の関係は、この曲が書かれたわずか9日後にモーツアルトが書いた歌曲「春の憧れ」KV.596にヒントが隠されているのです。それは、ピアノ協奏曲の第3楽章冒頭のテーマを用いて、この歌曲「春の憧れ」を書いており、このタイトルはピアノ協奏曲をも表すものと言えそうです。

もう一つ、モーツアルトの時代に近づいた演奏もご紹介しましょう。独奏ピアノのフォルテ・ピアノを使った演奏で、マルコム・ビルソンのソロ、ジョン・エリオット・ガーディナーの指揮、イングリッシュ・バロック・ソロイストの全集CDです。(Archiv 463 111-2) この演奏ではピアノばかりが強調されることなく、充実したオーケストラのサポートで曲全体をまとめている演奏です。現代のピアノ協奏曲の録音になれている方には物足りないかも知れませんが、モーツアルトの時代の協奏曲の本来の姿を感じさせる両者のバランスが、大きな説得力を持つ素晴らしい演奏になっています。第3楽章のカデンツァは何が登場するでしょうか？ ぜひ聴いてみて下さい。



MOZART
The Piano Concertos
Various Soloists
The English Baroque Soloists
JOHN ELIOT GARDINER